

国語学力向上事例の検討による学習用語指導の成果検証と指導理論の構築 ——Google ドキュメントを用いた中学校での記述指導を通して——

北海道教育大学札幌校非常勤講師・北海道教育大学附属札幌中学校非常勤講師 柳谷直明

キーワード：国語学力、学力向上、Google ドキュメント、記述指導、学習用語指導理論

1 問題の所在

学習指導要領では、他教科と比較すると、国語科の指導事項に具体的な用語が十分でない。例えば、野口（2002）は次のように述べた。「まず解明しなければならないのは、言語技術を支える「言語知識」の洗い出しと系統化ということである。ここでいう「言語知識」というのは、国語科における「学習用語」の謂である。算数で言えば、分子、分母、約分、通分、仮分数などのこれである。……〔略〕……これらの「用語」が、国語科では一向にはっきりしていない。そこでまずこれを解明することが大切だということになる。」「学習用語」は学習者が理解し、使用する教科内容であるので、具体的な用語である。

学習用語は実践者や研究者に整理され、教科書にも掲載されてきた。例えば、柳谷（2022）は学習用語研究を詳しく報告している。しかし、学習用語指導の成果検証は十分でない。

2 課題・方法

（1）課題

本研究は成果検証として次の仮説を証明する。「国語科学習用語指導により国語学力が向上する。」

（2）方法

中学校での柳谷直明の指導事例を検討し、国語学力業者テストの数値変容、記述変容、学年末アンケートの数値と記述を根拠として仮説を証明する。

加えて、約3か月間の複数の学習者記述の検討により、記述に出現する語彙を抽出し、その変容から仮説証明を補強する。さらに、仮説を証明した柳谷指導を整理して、学習用語指導理論を構築する。

具体的には、次の方法で進める。

- 1 学習者の実態からの課題解決の必要性
- 2 仮説を証明する根拠
- 3 仮説証明の補強
- 4 仮説証明を補強した学習用語使用
- 5 学習用語指導理論の構築
- 6 成果と課題

3 学習者の実態からの課題解決の必要性

小学校での指導経験が長かった柳谷が中学校で初めて指導した令和4（2022）年度入学の中学1年生は入学時から国語科学習用語の理解が不足していた。例えば、句点という学習用語を語彙として十分に理解し、概念として適正に使用できていなかった。加えて、文字は拙く、文の正確さが不十分であった。

句点使用を指導したが、定期テストの記述式問題の解答で句点を忘れる学習者が複数名いた。句点、地の文、会話文などの学習用語の理解不足は国語科教育学や教科書の問題であるが、十分に指導できていない指導者の問題でもある。

本研究では、柳谷が2年間指導した令和5（2023）年度中学2年生19名の指導事例を中心に検討する。

4 仮説を証明する根拠

（1）国語学力の設定

育成を目指す3つの資質・能力を国語学力とする。「知識及び技能」は主に学習用語の語彙使用を、「思考力、判断力、表現力等」は主に記述での学習用語の概念の適正使用を根拠とする。国語学力業者テスト¹の点数も上記2観点の根拠とする。「学びに向かう力、人間性等」は令和6（2024）年3月実施アンケート数値と中学1年生時の記述変容を根拠とする。

（2）学力テスト数値変容による仮説証明の根拠

数値1——中学1年時（2022）4月実施国語学力業者テストでの学級平均点は60.5点

数値2——中学1年時（2023）3月実施C R Tでの知識及び技能と思考力、判断力、表現力等の2観点の学級平均点は69.2%（全国比112%）²

数値3——中学2年時（2024）2月実施国語学力業者テストでの学級平均点は79.8点

数値4——中学2年時（2024）3月実施C R Tでの2観点の学級平均点は72.8%（全国比113%）

2年間で国語学力業者テストの学級平均点が19.3点向上している。学習塾に通う学習者が少ない地域なので、仮説を証明する根拠の一つとできる。

（３）記述変容による仮説証明の根拠

知識及び技能不足の実態に応じて中学１年前期は学習用語語彙指導を主に行った。後期は学習用語概念指導を主に行った。適正に記述させ、批評交流させた。Google ドキュメント記述の予習や振り返りを学習者間や指導者との批評交流で深めさせた。

後期（2022年10月5日）に次の記述を示し、Google ドキュメント記述（学習用語概念使用）指導を始め、批評交流をさせた。その成果による学習者の記述変容も仮説を証明する根拠の一つとできる。

国語授業 70 時間目……〔略〕……

後期振り返り ①授業記録、10月5日からフォルダのドキュメントに記述。②記述を終えたら、記述者同士で批評交流（できるだけ固定しないように）。③どうしても記述できない人は他者を真似る。

1時間の授業で1枚の Google ドキュメントを使用した。授業前に期日、授業内容、出席番号を打ち込んだ Google ドキュメントを Google ドライブ共有フォルダに作成した。少ない時間で作成はできるが、ドキュメント数が増えると検索が困難になった。

そこで、令和5（2023）年度には、35時間で1枚の Google ドキュメントにした。ドキュメント1枚を35時間で使用すると検索が容易であった。ただし、Google ドキュメントの他者記述を書き換えしないとの指導やデータ消失対策のために、頻繁な保存の必要があった。

学習者全員が同じ Google ドキュメントを共用していたので、いつでも記述できる状態であった。したがって、学校だけでなく、自宅でも端末で予習・復習を行える、個別最適な学びの環境であった。

10月5日の Google ドキュメントに学習者SSは次のように記述した。

後期は、自分から勉強に積極的に取り組み、テストなどの評価で良い結果を出したい。

今日は他者の発言を尊重して話し合いをする練習をした。自分の考えだけを言うのではなくて、他者が言った意見も尊重し、考えることが大切。

振り返りは毎回3分間程度で書かせていた。最初はこの程度の内容を書いていた。以下は11月24日、11月25日の上記学習者の振り返りである。

子供は欲が我慢できない。子供と大人の違いの一つである。この作品はあまりエーミールの心情が書かれていない。そのため、エーミールが不気味な奴と思われるのではないかな。今度、エーミール視点の「少年の日の思い出」を読みたい。僕はエーミールに謝る気がなかった。僕も不気味だ。この作品はいろいろな解釈ができる。とても面白いものだ。

私の自己課題は「僕がせっかく収集した蝶を潰すほど、罪悪感は大きなものだったのか」だ。僕は蝶を盗んだことに罪悪感を持っているわけではない。僕は蝶を潰してしまったことに罪悪感を持っている。それがどのようなもので、どれほど大きいかは分からないが、自ら蝶を潰してしまうほど苦しかったのだろう。

この作品を5時間学んだ。批評を書いたり自己課題を決めたりすることで、自分で想像を広げ描写を考える力がついた。また、興味をもつことができた。作品には書かれていない、エーミールの未来や、僕とエーミールの事件後の関係など、とても気になった。欲に対する人間の弱さ・純粋さは意外なところである。

この作品はとても面白かった。少しの行動や発言で人の心は壊れてしまうだろう。それほど儚く美しいものはないように思う。やはりエーミールと僕のその後の関係が気になる。推測の仕方は何通りもあるだろう。だが私は、二人が何らかの原因で元通りの関係になっていることを望む。しかし、僕は事件のことをトラウマに思っているようなので、その可能性は薄い。このような、苦しい事件が題名で「思い出」と言われていることが、すこし引かかる。「少年の日の思い出」の授業が終わってしまうのは悲しい。これほど一つの作品に自ら学ぼうと思ひ、主体的になれたのは初めてだ。すごく楽しい授業だった。（付け足し）（付け足し箇所は不明、筆者）

下線を引いた学習用語の出現に加え、他者・人物・語り手・授業批評なども記述するように変容した。

（４）学びに向かう力、人間性等での仮説証明の根拠

学びに向かう力、人間性等の評価は複雑である。例えば、教科や指導者に対する好悪も知識及び技能や思考力、判断力、表現力等の変容に影響を与える。

本研究では、学習者の学年末アンケート数値と記述変容で評価する。図1が数値集計結果である。

図1 令和6（2024）年3月国語授業アンケート調査結果					
各学年と本校比較	アンケート設問(全国調査は敬体になっていた。本校の質問は端的に常体にした。)	当てはまる。	はいどもえちらる。ばらかてと	はいどもえちらない。かてと	な。てはまら
全国	1 国語の勉強は好きだ。	23.6	37.7	26.3	12.2
中1		58.3	41.7	0	0
中2		84.6	15.4	0	0
中3		75	25	0	0
全国	2 国語の勉強は大切だ。	59.9	32.4	5.4	2.1
中1		100	0	0	0
中2		92.3	7.7	0	0
中3		75	25	0	0
全国	3 国語の授業の内容はよく分かる。	30.6	49.5	15.7	3.8
中1		75	25	0	0
中2		76.9	23.1	0	0
中3		75	12.5	12.5	0
全国	4 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。	52.1	36.4	8.4	2.8
中1		91.7	8.3	0	0
中2		76.9	23.1	0	0
中3		75	12.5	12.5	0
全国	5 国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫している。	19.4	46.5	27.2	6.4
中1		33.3	41.7	25	0
中2		53.8	23.1	15.4	7.7
中3		50	25	12.5	12.5
全国	6 国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いている。	19.5	44.4	27.8	7.6
中1		25	58.3	16.6	0
中2		46.2	38.5	7.7	7.7
中3		50	25	25	0
全国	7 国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえている。	30.0	47.3	17.2	4.6
中1		16.7	75	0	8.3
中2		61.5	23.1	15.4	0
中3		87.5	0	12.5	0
中1	8 国語学力(成績を含め、言葉を使用する能力)は伸びたか。	83.3	16.7	0	0
中2		84.6	7.7	7.7	0
中3		87.5	12.5	0	0
中1	9 柳谷先生が指導していた国語科学学習用語は自分の学力向上に役立ったか。	91.7	8.3	0	0
中2		69.7	30.8	0	0
中3		100	0	0	0
中1	10 柳谷直明先生の授業は楽しかったか。	100	0	0	0
中2		100	0	0	0
中3		100	0	0	0

学習者には、氏名公開をしないと伝え、次のように書いてアンケートを実施した。「柳谷先生の研究で結果を公表します。成績には全く反映しません。真実を述べてください。」

全国平均数値₃を超えている設問5、6、7は自らの学習を調整して学ぼうとする意志を評価できる。加えて、学力向上の自覚から粘り強い取り組みも読み取れる。したがって、学びに向かう力、人間性等の国語学力も向上し、仮説を証明する根拠とできる。

5 仮説証明の補強

(1) 国語学力向上を証明する語彙分類法

次の枠組みで学習者の記述変容を検討する。

① 学習者の記述

② 学習者の記述分析

A 学習用語使用

a 学習者の記述に学習用語が語彙として出現している。学習用語の語彙使用とする。

b 学習者の記述に学習用語が概念として出現している。例えば、句点、改行、段落、引用、鉤括弧、精査、解釈、批評、誤字脱字皆無などの学習用語の概念が適正に使用されている状態を学習用語の概念使用とする。

B 学習用語外効果的語彙使用（教材外の語も）

学習用語外効果的語彙の多用により、教材内容の理解深化としての国語学力向上を評価する。

学習者の記述を事例として用いる。事例に出現する学習用語を語彙使用と概念使用に分類する。以下の事例2以降（2022年度約3か月間）での学習用語使用の出現により、仮説証明を補強する。

ただし、記述量は国語学力向上の根拠から除く。語彙がどのように記述量に影響したかを検証できないからである。学習者の頭の中で語彙が有効に働くことにより、記述量が増えるだろう。したがって、記述量にも語彙が影響しているとは推測でしかない。

学習者の記述での学習用語使用により仮説証明を補強する。以下、「学習用語語彙」に下線を付す。

(2) 事例1——令和6（2024）年3月の記述——

設問9 柳谷先生が指導していた国語科学学習用語は自分の学力向上に役立ったか。

国語授業アンケートでの各設問に理由を記述させた。設問9の学習用語指導の回答理由だけを以下に抽出する。1年間指導した1・3年生を加えた全学年記述を学習用語効果○、指導法効果△に分類する。

① - 1 1年生の記述

- 普通の中学生では学ぶことはないだろうということまで教えていただいたため、すごく学力向上したと思った。
- 色々な言葉を使って説明やディベートをしたいときに使えるから。

- 実際のテストの点は向上しているため役立っていると思った。
- 国語科学習用語をわかったから点数が伸びたのではないかなと思った。
- 文章の書いている意味がわかる。
- テストで点がとれたから。
- △ 授業内容がわかりやすいから。
- △ ものすごくおぼえやすかった！
- △ 元々国語が苦手で、好きではなかったけれど、柳谷先生になってからは、漢字が書けるようになったり文章力が上がったりしたから。

① - 2 2年生の記述

- 覚えやすいのでどんな用語なのか理解できて、テストなどで書けるようになったから。
- 柳谷先生が授業でおっしゃっていたことで大切だと感じたことはノートにメモを残したり、授業が終わった後に復習したりしているから。
- 重要な用語、その用語関係を理解できるようになったから。
- 以前よりも文章力が伸び、記述問題に対する苦手意識が軽減されたから。
- 作品の批評や授業での発表で、わかりやすく短い言葉でまとめられるようになったから。
- 用語を使って文章を作ったり、知識が増えたりしたから。
- 文法などたくさん教えてもらったから。
- 特に、文学の三要素は絶対に忘れないと思うから。事件・人物・描写はこれからの文学鑑賞にも役立てたい。
- 学習用語、となっていることで覚えられるから。文法なども理解しやすかったから。
- 先生に教えていただいた学習用語のお陰で頭の中の制限が外れ、色々な視点から物語などを見られるようになった。
- 特に、文法は今でも将来でも大切に学力テストでも似たようなことが出てきたら解けるようになった。
- どちらかといえば役立った。
- △ 黄色文字で分類されていて、わかりやすかったから。
- △ 文法は小学校の頃は全然理解できていなかったが、柳谷直明先生の御指導ですごく理解することができました。

① - 3 3年生の記述

- 長文読解が得意になったと思うから。
- 授業内で振り返ってもらえるので、忘れたところも思い出せるから。

- 「批評」や「評価」などの用語の意味が分かったから。
- 難しいものばかりで覚えるのが大変だったけど、社会に出てから絶対に役に立つと思うし、入試でも役に立ったと思うから。
- 柳谷先生が今まで教えてくださったことを忘れない。国語力がよくなっていったので、良かった。
- △ 分からないところはその人が分かるまで教えていただけるから。

学習用語の効果を学習者は自覚し、使用していたことがアンケート記述から分かる。設問に学習用語とあるので、意識的に学習用語語彙を使用している。したがって、抽出は略す。（類似記述を除いた。）

（3）事例2——Google ドキュメントと紙を用いた『少年の日の思い出』鑑賞指導（中1）——

・基本情報（芦別市立啓成中学校）

時、令和4（2022）年度11月25日

指導者、柳谷直明／学習者、中学1年生19名

①ー1 Google ドキュメント記述

次は指導前の学習者SYの予習である。「学習用語外効果的語彙」に筆者の判断で二重下線を付す。

「僕」がどうして最後、蝶を一つ一つ潰してしまったのか、というところにすごく引っかかっている。私は「僕」が自分の犯してしまった罪、それに対するエーミールの態度から行き場のない苦しみや辛さが生まれてしまったからだと思った。しかし、どうして一匹ずつ潰したのか、という点も気になって、考えてみると「僕」の蝶に対する愛情も感じられた。蝶収集が大好きだった彼は珍しい大事な蝶を潰してしまった、ということがすごく辛かったので「自分には蝶集めをする資格がない」、と思ったのではないかな、と感じる。エーミールからの、「そうか、そうか、つまり君はそんなやつなんだな。」という言葉が深い傷になっているような気がする。だから、償いでもあるし、蝶への気持ちからの行動でもあるのかな、と考察してみた。11/3

ヘルマン・ヘッセについて

ヘッセの他の作品『デミアン』にもエーミールという少年が出てくるのだが、実はヘッセの別のペンネームがエーミール・シンクレールだそう。伏線かと思いきや、自分の名前を入れている。面白い。しかし、もしかすると『デミアン』に、繋がりが隠されているかもしれないと思ったので、これを機に読んでみようと思う。

上記の学習者が授業1時間目、11月17日に書いた振り返りが次である。語り手の視点から解放されつつある。思考深化の変容も読み取れる。

私は予習で「どうして盗んだのか」「どうして粉々に」など僕の行動に視点をおいていたけど、IKさんは予習で「何も言わずにおいた母の優しさ」に視点をおいていたので、そこが気に入った。だから、自己課題で僕以外の人の心情について考えてみることにした。今日はエーミール視点で考えたが、私は実はエーミールは文面より優しい少年だったのではないと思う。僕は模範少年であったエーミールを妬んでいたから苦手だっただけかもしれない。僕の語りではあくまで僕の考え、エーミールの語りや母の語りでは違う世界が見えてくるので面白い。

①－2 課題解決記述（11月25日公開授業日）

次が『少年の日の思い出』指導5時間目の上記学習者の記述である。予習と授業時間内に記述したものである。思考深化が読み取れる。振り返りはいつものように3分間程度で記述させた。

批評

この作品は、子供ならではの熱情や誘惑、人としての弱さを美しく、儚く描いている。正しい行いではない僕の行動も、なぜか少し共感してしまう些細な気持ちがあっても面白い。

予習で、「僕はエーミールを妬んでいたが、憧れでもいたのかもしれない。」このIKさんの意見がすごくいいと思った。妬みだけではなく、憧れという言葉を使って、僕の心情を的確に読み取っているな、と感じた。

自己課題 僕以外の人物の心情。

エーミールの心情

せっかく育てた孔雀山繭を彼はあつけなく壊してしまった。彼は変なやつだ。蝶の形の美しさが大切である展翅の仕方も劣っているし、何より完璧を求めているようだ。あんなに大切に育てたのに。僕は怒りとショックでいっぱいだった。そして何より、彼の口から謝罪の言葉が出てこなかったのだ。彼はいいやつだと思っていたのにそんなことをするなんて。「そうか、そうか、つまり君はそんなやつなんだな。」こんな冷たい言葉しか出てこなかった。

88時間目の際に、「実はエーミールは文面より優

しい少年」とS（自分、筆者注）は述べていたが、また考えが変わった。模範少年であるので、優しい心も兼ね備えているエーミールも、実は少し子分のように考えていたところがあって、裏切られたような心情になったのではないかと思った。

母の心情

交流

NHさんの解決に、「僕は蝶を潰すという行為で美に対する罪悪感や辛さなどを押しつぶしていたのではないか。」とあった。もしかすると僕は、蝶に対する哀れみは感じていたが、エーミールには嫌悪感しかなくて、美を大切にしていたエーミールへの憎しみを、美を壊す、という行為でぶつけていたのではないか。

振り返り

この『少年の日の思い出』を学習して、私が一番大きく変化したのは、エーミールへの印象だ。初めて読んだとき、エーミールが太っ嫌いだった。意地悪で冷たくて、人間の心を持っていないのかな、と思っていたが、僕の行動を踏まえてエーミールになりきって心情を考えてみることで、エーミールだって裏切られたような辛さや、努力を踏みにじられた気分になっていたのかな、と思いなおした。でも、やはりエーミールに情けなんてない、と考える人もいるようだ。SKさんから、「そうか、そうか、つまり君はそんなやつなんだな。」のセリフが、裏切られて辛かった、という心はないんじゃないか、と言われた。色々な考えがあるので楽しい。

②学習者の記述分析

A 学習用語使用

- a 語彙 交流、ペンネーム、作品、文面、言葉、伏線、語り、視点、人物、行動、セリフ、心情、気持ち、考え、意見、考察、課題、解決、批評
- b 概念 文種、小説、題名、作者、題材、事件、主人公、判断、理由、引用、鉤括弧、疑問、経験、精査、推察、検討、解釈、主張、批判、主題、批評、字下げ、改行段落、構成、句点、読点、文、誤字脱字皆無

B 学習用語外効果的語彙使用（読解・鑑賞に重要との筆者の判断である。ここは抽出を略す。）

学習用語概念使用は日常的に Google ドキュメントで批評交流していたので、適正に使用できている。学習者が少なかったため、可能な実践であった。

(5) 事例4——批評——

①—1 学習者NKの記述

光村教科書に掲載されている中谷宇吉郎『雪』の「雪の結晶は、天から送られた手紙である」に対して、家庭で記述してきた批評が次である。

この随筆の価値は、中谷宇吉郎が雪へ込めた思いや愛だ。自分だったら雪はもう「降らないでくれ。」と思い、嫌なイメージしかなく、絶対に「手紙」とは思えない。

だが、中谷宇吉郎は長い年月をかけるだけあり、たかが雪のことを手紙と呼べる。このような中谷宇吉郎の表現から、雪への強い愛が感じられる。この言葉はとても良い。(12月21日、筆者)

②—1 学習者の記述分析

A 学習用語使用

a 語彙 表現、随筆、言葉、手紙、イメージ、価値

b 概念 前述に加えて、筆者

B 学習用語外効果的語彙使用

中谷宇吉郎、雪、思い、愛、強い愛

①—2 学習者IKの記述

高村光太郎『レモン哀歌』を紹介した。授業で扱わなかったが、家庭で記述してきた批評が次である。

『レモン哀歌』批評

この作品の価値は深く消えてしまう愛である。愛しき人が求めていることを叶えてあげる優しさがとても深い愛に繋がり素敵だ。しかし、どんなに愛する人に良くしても、時は止まらないし限られた瞬間が変わることはないのが切ない。「天のものなるレモンの汁は」という部分から智恵子がレモンを凄く求めていたことが分かる。命の瀬戸際でレモンしか食べることができないのは、我々からするとあまり喜ばしいことではない。しかし、智恵子は笑った。それは食べ物を口にできたことが嬉しいのか。本当にレモンが食べたかったのか。もしも、レモンが食べたかったのだとすると、智恵子はレモンになにか思い入れ深いことがあったのだろう。「生涯の愛を一瞬にかたむけた」という表現にこの作品の価値が詰め込まれていて好きだ。生涯の愛という表現からは深い愛が伝わり、一瞬にかたむけたという表現からは今にも終わってしまいそうな儚く消えていく様

子が伝わる。とても美しい想いだが終わってしまうのが本当に切ない作品である。(12月23日、筆者)

②—2 学習者の記述分析

A 学習用語使用

a 語彙 表現、作品、哀歌、様子、価値、批評

b 概念 前述同様。改行段落はない。

B 学習用語外効果的語彙使用

レモン哀歌、レモン、智恵子、命の瀬戸際、愛、愛しき、深い愛、嬉しい、好き、優しさ、素敵だ、切ない、喜ばしい、儚く、美しい想い

6 仮説証明を補強した学習用語使用

学習者は主張や価値を述べ、文学作品を批判的に読んでいる。作品独自の中心価値を用いて批評している。中心事件での主人公の判断を精査して、判断理由の解釈による作品独自の中心価値等を主題としている。具体的には、事例2以降に次の学習用語が出現した。学習者はこれらの学習用語を理解し、使用した。学習者の使用語彙は指導で変容する。

a 語彙 交流、表現、本、ペンネーム、翻訳、文、作品、物語、随筆、紹介、手紙、文面、言葉、伏線、語り、視点、人物、行動、様子、心理描写、セリフ、心情、気持ち、考え、イメージ、疑問、答え、意見、共感、考察、課題、解決、価値、批評

b 概念 文種、小説、題名、作者、筆者、題材、事件、主人公、判断、理由、引用、鉤括弧、疑問、経験、精査、推察、検討、呼び掛け、解説、推薦、解釈、主張、批判、主題、批評、字下げ、改行段落、構成、句点、読点、文、誤字脱字皆無
このように、約3か月で学習用語使用の出現が変容した。したがって、仮説証明は補強された。

柳谷指導を整理し学習用語指導理論を構築する。

7 学習用語指導理論の構築

I 指導前の教材研究

(1) 素材研究(成心なく、何度も読む。)

①文種の決定による構成の判断

②文字表現は主張、主題の解釈による批評

③音声表現は題材、語彙、主張、主題等の検討

(2) 教材化研究

①言語活動選択(以下、例)

□音声言語活動——質問、インタビュー、スピ

- 一斉、対話、話し合い、討論、ディベート
- 文字言語活動——詩歌、物語、小説、随筆、批評、説明文、報告文、意見文、新聞、手紙
- ②言語活動の充実のための語彙列举
 - ・想定学習用語（以下、例）
- 音声言語活動——メモ、要点、話種、題材、主張、主題、疑問、批判、音量、速度、視線
- 文字言語活動——上記6 a b 同様
 - ・想定学習用語外効果的語彙（教材外の語も）

（3）指導法研究

- ①学習者の実態想定
- ②学習者の実態を改善する指導事項（学習用語、学習用語外効果的語彙）決定
- ③時数、目標（技能、価値）、評価、指導計画、指導事項決定
- ④本時の指導目標（技能、価値）、指導事項、指導方法、指導評価決定

Ⅱ 指導場面の診断的・形成的評価、指導

（1）学習者の実態評価

- ①学習用語・学習用語外語彙理解
定義を述べて学習者の理解を評価する。
- ②学習用語・学習用語外概念理解
語彙の概念使用で学習者の理解を評価する。

（2）学習用語指導

- 学習者に必要な学習用語を厳選して指導する。
- ①学習用語・学習用語外語彙理解
板書して明示し、理解させる。
 - ②学習用語・学習用語外概念理解
使用し、使用させて、何度も評価する。

Ⅲ 形成的・総括的評価場面での評価観点

（1）学習者の知識及び技能評価

- ①音声言語評価、②文字言語評価（テスト含）
音声言語、文字言語の言語活動での学習用語語彙と学習用語外語彙の使用、学習用語語彙と学習用語外語彙との論理的使用などを評価する。

（2）学習者の思考力、判断力、表現力等評価

- ①音声言語評価、②文字言語評価（テスト含）
音声言語は適宜評価、文字音声は事後評価を行う。音声発言、文字記述、交流での学習用語概念と学習用語外概念の適正使用、他者からの学び、自己課題解決、自己思考深化などを評価する。

（3）学習者の学びに向かう力、人間性等評価

アンケートで読み取れる自己調整と粘り強い取り組みとしての語彙使用の変容による記述で評価する。

8 成果と課題

（1）成果

「国語科学習用語指導により国語学力が向上する。」この仮説は十分に証明された。しかし、国語学力向上は学習用語指導の成果だけではない。例えば、次の学習者 I K 記述が述べている信頼、学びに向かう力、人間性等も国語学力向上に影響した。

二年間ご指導ありがとうございました。中学に入学して、初めての授業のことを鮮明に覚えています。とてつもない緊張感と不安でいっぱいでした。「君たちは伸びる。」この言葉に何度も救われました。様々な学習用語の何よりも、この言葉が印象的です。柳谷先生が私たちに向けてくださる期待に応えたくて、日々頑張ることができました。ですが、これからはいつかの自分のために学んでいこうと思います。今日まで柳谷先生から教わったものたちは、確実に自分の大きな成長と自信に繋がりました。A 中でも、この自信を結果に残して頑張ります。さみしい気持ちでいっぱいですが負けません。幸せになります。どうかお元気で。（3月19日、筆者）

（2）課題

Google ドキュメントによる予習・振り返りの日常的な指導は学習者が増えると難しいので、学習者の実態による指導改善が必要である。加えて、学習用語指導理論は未検討なので、今後、検証、改善する。

【注】

- 1 一般財団法人北海道教育文化協会発行。
- 2 数値2以降、日常的に国語授業を受けていない不登校傾向の学習者の点数は除いた。柳谷指導の影響が少ないからである。
- 3 全国学力・学習状況調査令和5年度中学3年生結果。

【参考文献】

- 野口芳宏（2002）「「ある時点での確定」がなされる」柳谷直明編著『「鍛える国語教室」2002年夏号』私家版、130.
- 柳谷直明（2022）「野口芳宏「学習用語」指導実践史」柳谷直明編著／「鍛える国語教室」研究会（略称、「鍛国研」）『『鍛える国語教室』32「鍛える国語教室」研究会創立30周年記念 野口芳宏「国語学力」形成史』溪水社、39 - 62.